第13回定時総会

第13回定時総会

令和７年度第13回定時総会が開催され、各議案とも原案どおり承認された。

第13回定時総会が、令和７年５月29日㈭ANAクラウンプラザホテル松山で正会員368名のうち337名（出席65名書面決議272名）賛助会員６名が出席して開催された。

大西副会長の開会宣言があり、続いて、会員の物故者に対し黙祷を捧げた。

小池会長の開会挨拶の後、表彰式に移り、愛媛県知事から産業廃棄物の適正処理を通じて生活環境の保全に寄与した個人１名、法人２社に対して感謝状が贈呈された。

また、協会長表彰として小池会長より功績のあった方々、功労者表彰２名、優良事業所表彰４社、優良従業者表彰３名に対して表彰状と記念品が贈呈された。

表彰者を代表して知事感謝状を受賞されたグローバル環境サービス株式会社代表取締役三谷眞司氏から謝辞があった。

その後、愛媛県知事 中村時広様（代読 愛媛県県民環境部環境局　局長 藤原英治様）

愛媛県議会議長 福羅浩一様（代読　愛媛県議会 環境保健福祉委員会 副委員長 山﨑洋靖様）、松山市長 野志克仁様（代読　松山市環境部　環境都市担当　副部長 好光慎吾様）から祝辞を賜った。

小池会長あいさつ

開会あいさつ
（大西副会長）

愛媛県知事祝辞
（代読 藤原局長）

愛媛県議長祝辞
（代読 山﨑副委員長）

松山市長祝辞
（代読 好光副部長）

来賓の方々

第13回定時総会

第13回定時総会会長あいさつ

一般社団法人えひめ産業資源循環協会
会長　小　池　正　照

第13回定時総会にあたり協会を代表してご挨拶を申し上げます。

まずは本日の総会に愛媛県の中村時広知事代理 藤原英治県民環境部環境局長様、愛媛県議会の福羅浩一 議長代理 山﨑洋靖環境保健福祉委員会副委員長様、松山市の野志克仁 市長代理 好光慎吾環境部副部長様を始め、多数の御来賓の方々に公務多忙の中をご臨席いただき厚く御礼を申し上げます。

また、本日、表彰を受けられる皆々様には永年にわたる協会活動へのご協力を感謝いたしますと共に心からのお祝いを申し上げます。

そして、会員の皆様には、日頃からの各般に渡るご尽力に心から敬意を表しますとともに、平素より協会の事業運営に格別のご理解とご協力を頂いております事を衷心より御礼申し上げます。

さて、2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、昨年度、国においては、「第六次環境基本計画」の策定、「循環経済を国家戦略に」と題した「第五次循環型社会形成推進基本計画」の策定、「再資源化事業等高度化法」の制定と今年秋の完全施行など、大きな政策の動きが顕現化し、いみじくも私どもの協会が令和元年度に「産業廃棄物協会」から「産業資源循環協会」へと名称を変更したことに象徴される、廃棄物処理から資源循環への流れが、まさに奔流となろうとしております。

私ども「資源循環」の中核を担う、産業廃棄物処理・資源循環業を営むものとして、業界あげてこのような社会の変革に対応していかなければならないと考えているところでございます。

協会では、今年度も愛媛県や松山市をはじめ関係機関と連携して、３Ｒ補助金や各種研修会、先進地への視察研修、調査研究事業などを実施し、会員の皆様が、サーキュラーエコノミー（循環経済）へ適合した産業廃棄物処理業者として発展していくための御支援を行って参りますとともに、先に申し述べました社会情勢の変化をいち早くキャッチして、会員の皆様に情報提供を行って参りたいと考えておりますので、積極的にご活用していただきますとともに、引き続き協会活動への御支援、ご協力をお願いいたします。

次に、労働災害防止についてでございます。廃棄物処理業における労働災害の発生状況は全産業の中で飛び抜けて高いことから、この業界で働く方々の「安全確保」は喫緊の課題

となっております。

当協会でも、「労働災害防止計画」を策定して、取組みを行ってきましたが、令和５年と６年度の２年間で、会員企業において、３件４名の痛ましい死亡事故が発生してしまいました。協会では、今後、このような事故が発生しないよう、会員企業の安全衛生水準のなお一層の底上げのため、安全衛生管理研修会の開催や情報提供に取り組んでまいりますので、是非ともご活用ください。

次に、災害廃棄物の処理等の社会貢献活動についてでございます。皆様ご承知のとおり、昨年１月に能登半島地震が、９月には奥能登豪雨が発生し、今なお、私どもの仲間であります石川県の協会・会員が災害廃棄物の処理に全力で当たっており、近い将来、南海トラフ地震の発生が想定されている本県でも、他人事ではない状況です。

また、近年、高病原性鳥インフルエンザや豚熱が本県を含め、多くの地域で頻発し、り患した家畜の迅速な処理が求められている状況にあります。

当協会では、愛媛県及び県内全市町と、「災害時における災害廃棄物等の処理等の協力に関する協定」を、愛媛県と「特定家畜伝染病発生時における防疫業務に関する協定」を締結しており、実際、昨年度は、７月の松山市の城山の土砂崩れにおいて、松山市からの要請に基づき、災害廃棄物の分別処理を、12月の西条市における鳥インフルエンザ発生時においては、愛媛県からの要請に基づき、家禽や鶏卵の運搬や焼却処理を、当協会の会員企業が担ったところです。

改めまして、対応の実務にあたられました会員企業に感謝申し上げますとともに、協会として、今後とも、関係機関と連携し、これら社会貢献活動にも積極的に取り組んでまいります。

最後に、本日は、前年度の事業報告と決算の承認に加え、新年度の事業及び予算の報告を予定しておりますので、よろしくご審議のほどお願いいたしまして、開会のご挨拶といたします。

第13回定時総会

祝　　辞

愛媛県知事　　中　村　時　広

本日、一般社団法人えひめ産業資源循環協会第13回定時総会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から、産業廃棄物の適正処理はもとより、循環型社会の構築と産業廃棄物業界の健全かつ持続的な発展に尽力されており、深く敬意を表します。更に、昨年７月に松山市で発生した土砂災害における災害廃棄物の処理や、12月に西条市で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫措置にも御協力を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。

また、さきほど、長年にわたる御功績により、感謝状並びに表彰を受けられました方々には、その御栄誉を心からおたたえし、今後一層の御活躍を御期待申し上げます。

さて、私たちは、地球温暖化にともなう気候変動をはじめ、大気・水・土壌等の汚染、生物多様性の損失など、さまざまな環境問題に直面しており、国では、第六次環境基本計画を策定し、今後の地球環境への影響が大きいとされる2030年までの対策の重要性をふまえた取り組みが進められています。

県におきましても、「勝負の2030年」を見据え、環境分野における政策の方向性をまとめた「第四次えひめ環境基本計画」を今年２月に策定し、深刻化する環境問題への対処と地域循環共生圏の形成を目指して、各種施策を積極的に展開しているところです。

とりわけ、循環型社会の構築に向けた取り組みでは、本県の喫緊の課題である海洋ごみ対策として、日本財団と連携して昨年度から開始した破砕機搭載の上陸母船による重点回収を継続するとともに、海洋ごみの再資源化の促進や、将来的な大量廃棄が見込まれる使用済み太陽光パネルの３Ｒを推進するための仕組みづくりなど、持続可能な形で資源を有効利用するサーキュラーエコノミーへの移行を推進して参ります。

どうか皆様方には、こうした施策に御理解をいただきますとともに、環境に配慮した持続可能な地域づくりを通じて、「愛顔あふれる愛媛県」の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、一般社団法人えひめ産業資源循環協会のますますの御発展、並びに御出席の皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、祝辞といたします。

第13回定時総会

祝　　辞

愛媛県議会議長　　福　羅　浩　一

一般社団法人えひめ産業資源循環協会の第13回定時総会が開催されるに当たり、県議会を代表してごあいさつを申し上げます。

皆様方には、平素から産業廃棄物の適正な処理や資源循環に関する事業活動を通じて、本県の環境保全と県民の安心・安全な生活の確保のために、多大なる御貢献をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、先ほど表彰を受けられました皆様には、心からお喜びを申し上げますとともに、今後一層の御活躍を期待いたします。

さて、御案内のとおり、産業廃棄物処理業界は、環境保全のみならず、地域社会を支える重大な使命を担われており、不法投棄等の不適正処理の防止をはじめとして、環境や社会に配慮した廃棄物処理や再資源化など、カーボンニュートラルの実現に向けて、積極的な役割が期待されているところです。

このような中、貴協会におかれましては、日頃から、産業廃棄物の適正処理や資源循環に関する調査研究、研修会等の実施のほか、普及啓発や広報、さらには社会貢献活動にも励まれるなど、県内産業の健全な発展のみならず、県民の福祉や公衆衛生の向上、生活環境の保全に、真摯に取り組んでおられ、深く敬意を表するところであります。

加えて、大規模災害等の発生に備え、能登半島地震と奥能登豪雨災害で発生した災害廃棄物の処理状況を視察調査されるとともに、本県の災害廃棄物処理実動訓練に全面的に御協力いただくなど、実効性のある災害廃棄物処理体制の構築に、御尽力いただいておりますことは、誠に心強く、感謝を申し上げる次第であります。

県議会といたしましても、良好な環境の創出と持続可能な社会の実現に向けて、引き続き全力で取り組んでまいる所存でありますので、皆様方におかれましては、今後とも、循環型社会の構築に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、えひめ産業資源循環協会のますますの御発展と、御出席の皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

第13回定時総会

祝　　辞

松山市長　　**野　志　克　仁**

本日、一般社団法人えひめ産業資源循環協会第13回定時総会が盛大に開催されますこと、心からお喜び申し上げます。

皆様は、資源が適切に循環する環境づくりを通して、松山市に格別の御理解と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

また、先ほど感謝状と表彰を受けられた方々は、長年にわたり廃棄物の適正処理に力を尽くされ、深く敬意を表します。業界の発展のため、更なる御活躍をお祈りします。

昨年７月に松山市緑町で発生した土砂災害では、災害廃棄物の処理に関する協定に基づき、貴会に多くの御支援をいただきました。改めて心から感謝を申し上げます。

さて、松山市では、今年４月から「第７次松山市総合計画」がスタートしました。『一人ひとりの幸せが　実現するまちへ ～笑顔を大切に「つながる力」で挑戦～ 』をまちづくりの理念として、市民や事業者の皆さんと連携し、脱炭素・循環型まちづくりを進めていきます。

このような中、貴会は、会員の皆様が連携し、持続可能な資源循環と廃棄物の適正処理のための調査研究や研修、災害廃棄物処理の訓練などに積極的に取り組まれており、とても心強く思います。

南海トラフ地震への備えなど、災害に強いまちづくりのために皆様との連携が必要です。これからもお力添えをお願いします。

結びに、お集まりの皆様の御健勝と、一般社団法人えひめ産業資源循環協会の　ますますの御発展を心からお祈りし、お祝いの言葉とします。

第13回定時総会

日時　令和７年５月29日㈭　15：00
場所　ANAクラウンプラザホテル松山

議　　事

第１号議案　令和６年度事業報告並びに収支決算の承認に関する件
（報告事項）　令和７年度事業計画並びに収支予算の報告に関する件
第２号議案　総会決議事項の補正変更の委任に関する件
各議案ともに審議の結果、原案どおり承認され、近藤副会長による閉会挨拶で終了した。

司　　会
（岡本理事）

議　　長
（児玉理事）

閉会の挨拶
（近藤副会長）

総会の様子

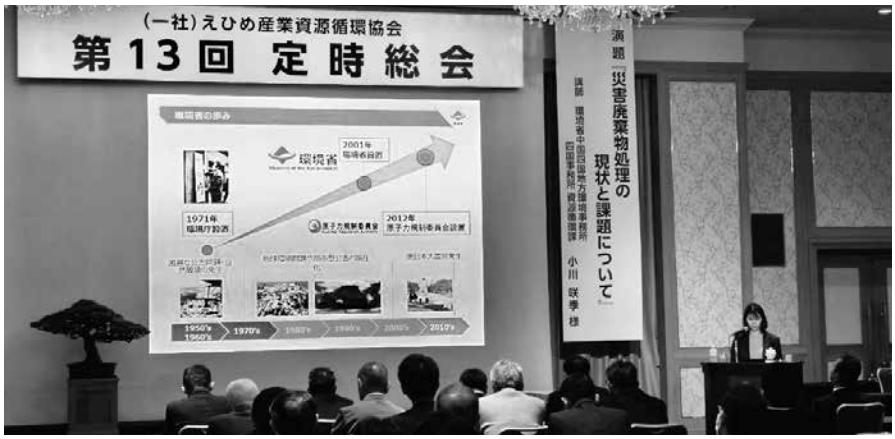
講演会

引き続き下記の演題により講演会を開催した。

演題　「災害廃棄物処理の現状と課題について」

講師　環境省中国四国地方環境事務所四国事務所

資源循環課　総括担当　小川　咲季　様



講演会の様子

小川講師

懇親会

総会終了後、懇親会を行った。

小池会長より開会のあいさつの後、菅副知事、協会の西原顧問からご挨拶を賜わり、西田顧問の乾杯の音頭により開宴、その後、次期参議院選挙で愛媛選挙区から立候補されるうえの由佳様がお見えになりご挨拶を賜った。

司会（藤岡優一氏）

小池会長あいさつ

懇親会来賓御挨拶（菅副知事）

懇親会来賓御挨拶（西原顧問）

懇親会乾杯の音頭（西田顧問）

懇親会来賓御挨拶（うえの由佳様）

懇親会来賓御挨拶（うえの由佳様）

懇親会閉会の挨拶（大西副会長）

多数の来賓の皆様を交えて終始、和やかな雰囲気の中で会員相互の親睦を深めた。
大西副会長より閉会の挨拶があり盛会裏に終了した。

第13回定時総会

知事感謝状贈呈者

○知事感謝状（個人）

三谷　眞司　殿
（西条市
グローバル環境サービス株式会社　代表取締役）

○知事感謝状（法人）

株式会社大喜水質管理センター　殿
（大洲市　代表取締役　藤岡　一平）

株式会社トータス・グリーン　殿
（松山市　代表取締役　西山　周）

第13回定時総会

会長表彰受賞者

○功労者表彰（規定第４条２号該当）

加藤　宏二　殿
（四国中央市
有限会社山一産業）

木村　昭博　殿
（喜多郡内子町
エコブリッジ株式会社）

功労者表彰代表　加藤　宏二 氏

○優良事業所表彰（規定第４条３号該当）

株式会社E-システム　殿
（松山市　代表取締役　櫻井　正次）

事業所表彰代表　株式会社E-システム　殿

株式会社フロンティアサービス四国　殿
（新居浜市
代表取締役　小林　正憲）

株式会社アイリック　殿
（松山市
代表取締役　山本　裕二）

大東建設株式会社　殿
（西予市
代表取締役　薬師寺信彦）

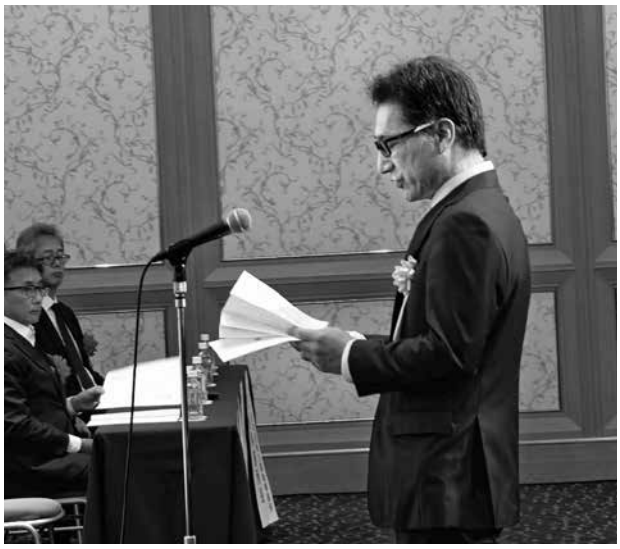
○優良従業者表彰（規定第４条４号該当）

南　　文人　殿
（新居浜市
株式会社イージーエス）

従業者表彰代表　南　文人　氏

塩崎　孝之　殿
（新居浜市
株式会社イージーエス）

渡部　将吾　殿
（松山市
株式会社トータス・グリーン）



謝辞（三谷眞司氏）

協会ニュース

令和７年度　第２回理事会の開催

第２回理事会を令和７年７月４日㈮久保豊一番町ビル３階一番町ホールで開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

１．議　題

⑴　顧問・行政懇談会について

10月２日開催予定とし、議題等詳細については各地区会長及び理事の皆様に、過去の議題を取りまとめて資料として送付させていただいたところで、７月25日迄の取りまとめを各地区会長に依頼済みとの説明があり、承認された。

⑵　適正処理推進事業等活動支援金交付申請について

宇和島地区の申請について説明があり、承認された。

⑶　新規会員加入及び退会の承認について

正会員１社の入会と正会員１社及び、賛助会員１社の退会について説明があり、承認された。

２．報告事項

⑴　委員会報告

事務局より、第２回総務委員会、第１回企画広報委員会の報告があった。

⑵　その他

①「青年部会30周年記念事業」について９月９日に記念式典を開催、海外交流を企画し台湾での先進地視察を９月23日～26日に行う目途がたった。但し、台湾政府を介したことから団体との交流の橋渡しをしていただけそうなことから、視察に関しては青年部会が主体ではあるものの親会としても青年部会を後押しすることとし、親会からも視察の参加を募り、合同視察研修としたい旨の報告があった。

②　賛助会員によるパブリシティについて、行政からの広報や協会員にメリットのある法令集の会員割引販売の案内を除き、年４回発行している機関誌のうち、ご希望の１回につき、リーフレット等のパブリシティを行うことを加入メリットとする旨の報告があった。

③　愛媛県の災害廃棄物処理実動訓練は入札の結果、「国際航業株式会社」が受託者となり、本年大洲市に於いて11月19日を中心に県と調整の上開催する計画の旨の報告があった。

④　３Ｒシステム事業化促進支援事業審査結果について、追加応募を含め３件の応募があったことから審査会を開催し承認を得、県に対し交付申請等の手続きを実施したとの報告があった。

⑤　今後の行事予定

青年部会設立30周年記念式典９月９日㈫、第３回理事会及び顧問・行政懇談会10月２日㈭、資源循環と環境を考える全国大会10月31日㈮、第14回定時総会については、令和８年５月28日㈭　ＡＮＡクラウンプラザ松山に於いて開催する旨の報告があり、承認された。

協会ニュース

令和７年度　第２回総務委員会の開催

第２回総務委員会を令和７年７月４日㈮久保豊一番町ビル３階一番町ホールで開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

１．議　題

⑴　理事会提出議題について

①　顧問・行政懇談会について

10月上旬で協議中、現在のところ10月２日㈭に開催する予定として理事会に諮ることとなった。議題等詳細については、各地区会長に依頼済みとの説明があった。

②　適正処理推進事業等活動支援金交付申請について

宇和島地区の申請について説明があり、理事会に諮ることとなった。

③　新規会員加入及び退会の承認について

正会員１社の入会と正会員１社及び、賛助会員１社の退会について説明があり、理事会に諮ることとなった。

⑵　その他

①　委員会報告・全産連報告

②　その他

- 「青年部会30周年記念事業」について記念式典（９月９日）と海外交流を企画し、９月23日～26日に台湾で先進地視察を行う目途がたった。但し、台湾政府を介したことから、視察に関しては青年部会が主体ではあるものの、親会との合同視察研修としたい旨の説明があり、理事会に報告することとなった。

小池会長から、参加者多数により、収拾がつかなくなるような事態は避け、募集方法、人数調整については不公平感がないよう工夫するようにとの意見があった。

- 賛助会員によるパブリシティについて、年４回発行している機関誌のうち、ご希望の１回につき、リーフレット等のパブリシティを行うことを加入メリットにしてはどうかとの提案説明があり、反対意見もなく理事会に報告することとなった。
- 愛媛県の災害廃棄物処理実動訓練は入札の結果、「国際航業株式会社」が受託者となり、本年大洲市に於いて11月19日を中心に県と調整の上開催する計画の旨説明があり、理事会に報告することとなった。
- ３Ｒシステム事業化促進支援事業審査結果について、追加応募を含め３件あり審査会で承認を得、県に対し交付申請等の手続きを実施したとの説明があり、理事会に報告することとなった。

③　今後の行事予定

⑶　第３回総務委員会の日程について

３Ｒ事業検討会と同日開催とするため、３Ｒ委員の方とも日程調整を図らせていただく旨、説明があった。

協会ニュース

令和７年度　第１回企画広報委員会の開催

第１回企画広報委員会を令和７年５月９日㈮、協会会議室で開催した。

１．議　題

⑴　「えひめの資源循環」第25号（５月号）企画編集について

内容について協議し、「えひめの資源循環」第25号（５月号）を５月末に発行した。

⑵　ホームページについて

- アナリティクスのページで１月から３月のアクセス解析の報告とバナー広告等のクリック数の報告。
- ホームページ開設時からの年度別集計で2023年１月分から急激に下がっているのは当初からのアクセス解析のサービスが終了したため2023年１月分よりGoogleアナリティクスによる集計に変更、カウントの仕方が違うためと報告。

⑶　その他

①　「えひめの資源循環」第26号（８月号）の表紙について

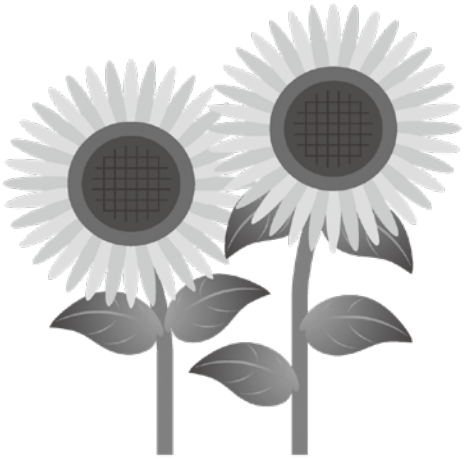
- 表表紙…えひめの駅「ＪＲ吉田駅」濱口委員撮影の2576番に決定。
- 裏表紙…「新居浜マリンパーク」岩津委員撮影に決定。

「えひめの資源循環」第27号（11月号）の表紙

- 表表紙…えひめの駅「伊予鉄　道後温泉駅」に決定。西村・富久委員で撮影
- 裏表紙…自由写真次回決める。

②　次回委員会の開催日について

- 第26号（８月号）
  令和７年８月７日㈭13：30～
- 編集後記…岩津委員



協会ニュース

令和７年度　優良産業廃棄物処理業者育成研修の開催

愛媛県からの受託事業である優良産業廃棄物処理業者育成研修会を、専門の講師を招き産業廃棄物処理業者を対象に下記の日程で開催した。

○　産業廃棄物処理の実務者研修

開 催 日　　令和７年６月13日㈮
開催場所　　リジェール松山
受講者数　　80名
研修内容
① 開講挨拶
② 講義　「産業廃棄物処理の基礎」（講師　岩田　隆　氏）

○　処分業者維持管理研修

開 催 日　　令和７年７月１日㈫
開催場所　　リジェール松山
受講者数　　23名
研修内容
① 開講挨拶
② 講義　「石綿含有建材事前調査の概要他（１）」
内容○工作物に関する事前調査者資格等について
（講師　一般社団法人日本アスベスト調査診断協会　副理事長　椿本　明仁　氏）
講義　「石綿含有建材の産業廃棄物処理業者としての処理方法について（２）」
（講師　公益社団法人全国産業資源循環連合会　専任講師　岩田　隆　氏）

協会ニュース

2025年度産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会の開催について

廃棄物処理法に規定された産業廃棄物処理業の許可申請等に必要な専門的知識・技能の修得のため、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが毎年実施している講習会が、今年度は、インターネットで講義を受講する「オンライン形式」と、会場で講義を受講する「対面形式」により開催されている。

なお、愛媛県の試験は松山市の「愛媛県県民文化会館２階真珠の間」及び「リジェール松山８階クリスタルホール」の２会場で、開催結果は以下の通り。

○対面形式　開催会場（リジェール松山）
試験日時　2025年７月30日㈬
講習会(課程)　産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）
受講者数　122名

○オンライン形式　開催会場（リジェール松山）
試験日時　2025年７月31日㈭午前
講習会(課程)　産業廃棄物の処分課程（新規）
受講者数　17名

試験日時　2025年７月31日㈭午前
講習会(課程)　産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程（更新）
受講者数　24名

試験日時　2025年７月31日㈭午後
講習会(課程)　特別管理産業廃棄物管理責任者講習
受講者数　114名

協会ニュース

令和７年度　３Ｒシステム事業化促進支援事業

３Ｒシステム事業化促進支援事業につきましては、３月24日から４月30日まで会員に対して募集しましたが、１件の応募しかなかったため、５月１日から追加募集を行ったところ、２件の応募があり、５月21日及び７月２日に事業審査会を開催して学識経験者及び行政による厳正な審査をしたところ、全件採択されました。

また、協会が行う３Ｒシステム等調査研究事業については、検討会を設置し、再資源化技術について分析検討や調査研究視察を行い循環型社会ビジネスの事業化について取りまとめるとともに、昨年度に引き続き研究成果発表会を開催するほか、災害時における対応強化のため、災害時に支援可能な資機材調査や情報伝達訓練を行いますので、会員の皆様の積極的なご参加をお願いします。

補助金の種類	補助対象事業	補助率	採択事業	補助額
３Ｒシステム事業化促進支援事業費補助金（会員）	**研究・開発等事業** 会員企業が取り組む県内の産業廃棄物の３Ｒ及び減量化・製品化又は資源循環の高度化に資するための研究・開発及びそれを踏まえた機器整備事業	３/４以内 補助限度額500万円	㈱イージーエス ・有機資源の炭化等利活用における技術調査と実用性評価に関する研究	320万円
			オオノ開發㈱ ・TG-DTAによるPFAS吸着済活性炭の再利用技術の確立	500万円
	技術・設備導入事業 産業廃棄物の３Ｒ化及び減量化・製品化の推進に係る技術及び設備の導入	１/３以内 補助限度額500万円	四国環境整備興業㈱ ・もみ殻固形燃料製造装置（グラインドミル）導入事業	352万円
３Ｒシステム等調査研究事業（協会）	**調査研究事業費** 産業廃棄物の３Ｒのリサイクルシステム、新たな再資源化技術、災害時のＢＣＰ計画・災害廃棄物処理計画の策定等に資する調査研究	３/４以内	えひめ産業資源循環協会 ・３Ｒシステム技術研究調査事業	300万円

補助金総額1,472万円